

# 岐阜大学フォーラム「大学の安全について考える」の開催報告

## 学内における安全衛生活動の普及・啓発手法の検討

○紙枝 良輔<sup>A, B, C)</sup>

A) 東海国立大学機構 統括技術センター 環境安全技術支援室

B) 東海国立大学機構 岐阜大学 高等研究院 全学技術センター

C) 東海国立大学機構 岐阜大学 工学部 ものづくり技術教育支援センター

### 概要

産業保健スタッフとして大学の安全衛生業務に取り組む場合、最も重要なことは疾病や事故を未然に防ぐ一次予防策を講じることである。また、この理解を学内に定着させ、学生や教職員等の自主的な安全衛生活動を促進する普及啓発も重要な役割である。しかし、学内構成員から自主的な安全衛生活動に係る行動変容を誘発することは想像以上に困難であり、従来通りの普及啓発の取り組みだけではその促進に限界があると考えられる。そこで筆者は、安全衛生に係る情報発信の数を増やし、行動変容のきっかけとなるコミュニケーションスタイルを築くことを目的として、令和6（2024）年度の全国労働衛生週間（毎年10月1日～7日）付近において、「大学の安全について考える」というテーマのフォーラムを企画し、これを岐阜大学イベントとして開催した。

岐阜大学では年度末頃に教職員を対象として「岐阜大学イベント」の演題募集が行われる。この募集では、岐阜大学の教育研究、社会貢献活動等の活性化に資するテーマが募集され、A4用紙2枚ほどの申請書を本部に提出し採択されれば、経費補助をいただいてシンポジウム又はフォーラムを開催できるという制度がある。筆者はこの制度を用いて、先述のフォーラムを開催した。

なお、本報は令和7（2025）年3月18日（火）に岐阜大学で開催された第4回東海国立大学機構技術発表会でポスター発表した内容である。

### 1 フォーラム開催の目的

産業保健スタッフとして大学の安全衛生業務に取り組む場合、最も重要なことは疾病や事故を未然に防ぐ一次予防策を講じることである。また、この理解を学内に定着させ、学生や教職員等の自主的な安全衛生活動を促進する普及啓発も重要な役割である。しかし、学内構成員から自主的な安全衛生活動に係る行動変容を誘発することは想像以上に困難であり、従来通りの普及啓発の取り組みだけではその促進に限界があると考えられる。そこで筆者は、安全衛生に係る情報発信の数を増やし、行動変容のきっかけとなるコミュニケーションスタイルを築くことを目的として、令和6（2024）年度の全国労働衛生週間（毎年10月1日～7日）付近において、「大学の安全について考える」というテーマのフォーラムを企画し、これを岐阜大学イベントとして開催した。

## 2 岐阜大学イベントについて

岐阜大学では年度末頃に教職員を対象として‘岐阜大学イベント’の演題募集が行われる。この募集では、岐阜大学の教育研究、社会貢献活動等の活性化に資するテーマが募集され、A4用紙2枚ほどの申請書を本部に提出し採択されれば、経費補助をいただいてシンポジウム又はフォーラムを開催できるという制度がある。筆者はこの制度を用いて、先述のフォーラムを開催した。

## 3 フォーラムの内容

令和6（2024）年9月24日にフォーラムを開催した。構成は、大学の安全衛生に係る最新の情報提供及びフォーラム参加者らによる議論の順で実施した。前者の大学の安全衛生に係る最新の情報提供に関しては、学外から安全衛生の専門家をお呼びし、昨今の安全衛生の動向や大学という特殊な環境下で留意すべき内容等について90分の御講演をいただいた。後者のフォーラム参加者らの議論は、参加者からの発言を基にテーマを展開していくフローで行なった。Figure. 1



Figure. 1 フォーラムの様子

## 謝辞

フォーラム内で御講演してくださった錦見環境安全衛生コンサルタント事務所代表 錦見端先生、開催までの準備過程における諸々の手続きやお力添えをしてくださった事務職員及び技術職員の方々に厚く御礼申し上げます。本件は、岐阜大学から補助金の助成を受け、岐阜大学イベント（フォーラム）として開催したものです。